

2015年IEA閣僚理事会における
エネルギーと気候変動に関する声明（仮訳）

パリ，フランス
2015年11月18日

エネルギーの産出及び消費により、世界の温室効果ガスの約2/3が排出されており、これは、エネルギー分野における行動が、我々が共同で直面する気候変動対策にとって極めて重要なものであることを意味している。さらに、エネルギーへのアクセスは経済的及び社会的な発展、とりわけエネルギー貧困撲滅の前提条件である。我々閣僚は、2015年の国際エネルギー機関（IEA）閣僚理事会に出席するエネルギーの責任者として、気候変動、開発、経済及びエネルギー安全保障上の目標達成に向け、世界のエネルギーシステムの転換が不可欠かつ統一のビジョンであることを認識する。

我々は、クリーンエネルギーシステムへの転換がIEAの報告により以下のとおり進行中であることを留意する。

- 政策面の支援や太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーのコスト低減を受け、2014年における世界のエネルギー消費の増加量のうち、約半分を再生可能エネルギーが占め、世界全体で約130ギガワット（GW）の記録的なエネルギー供給に貢献している。
- 省エネに関する規制が、世界のエネルギー消費の27%を占めている（2005年比で12%増）。
- 分散型電源、スマートグリッド及びエネルギー貯蔵技術の向上は、エネルギー供給と消費のあり方を加速度的に変えつつある。

エネルギー大臣は、これらの発展を円滑にし、加速させるための中心的な役割を有している。これは、経済的に実現可能な対策を大規模に可能とする政策、技術革新の大幅な推進、多様なクリーン、安全かつ持続可能なエネルギー解の採用、そして民間部門の金融資産及び展開力の全面的な活用を含む。

我々は、科学的な見地から、平均気温の上昇を産業革命以前と比べ2℃以下とするためには、温室効果ガスの大胆な削減が求められていることを認識する。安全かつ持続可能な低炭素技術及び省エネルギーは、エネルギー安全保障において決定的な役割を果たす。我々は、2015年12月に開催される国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）が、相互の信用と協力及び強固な国際的枠組みにより、全ての国が気候変動及びクリーンエネルギーに関する行動の野心的なサイクルを開始する重要な機会であることを特に留意する。

我々は、COP21に対し、我々の気候変動目標のためにはエネルギー転換が必要であり、かかる転換が進行中であることの明確な認識とシグナルの必要性を強調する。我々は、この野心的な合意を成功裏に妥結するため、それぞれの交渉当事者に対する継続的な支援を行う。

我々は、IEA加盟国を含む多くの国々がCOP21に先駆け、各国が自主的に設定する約束草案（INDC）を提出し、全面的な実施にコミットしたことを強調する。我々は、これらのINDCが将来のエネルギー分野のトレンドにもたらず前向きな影響を歓迎するとともに、これらが、増加の一途をたどる野心を構築する更なる定期的なステップに向けた最初の一步であるべきという、IEAによる分析結果を是認する。

我々は、IEAによる安全かつ持続可能な低炭素エネルギーシステムへの転換を支援する取り組みを賞賛する。我々は、世界的なエネルギー市場が変化を続けるとともに、主要なエネルギー消費者及び生産者に対し、柔軟かつ包括的方法により世界のエネルギーシステムの転換への参画を促すためにIEAが指導的な役割を有することを認識する。

我々は、全ての地域において経済的かつ持続可能な発展をもたらしつつ、エネルギー分野における温室効果ガスの削減に向け、特に以下に掲げる5つの重要な機会を歓迎する。

1. 産業分野、建築分野、及び交通分野におけるエネルギー効率の向上
2. 最低効率の石炭火力発電利用の廃止
3. 再生可能エネルギー技術（水力発電を含む）に対する投資拡大の継続、最低でも2030年までに4,000億米ドルへの到達
4. 一般消費者に対する非効率な化石燃料補助金の段階的廃止
5. 石油及び天然ガス産出に伴うメタンの排出削減

これらの機会へ対応することにより、我々は非効率なエネルギー利用を削減するとともに、エネルギー関連による温室効果ガス排出の必要量の削減を前倒しすることが可能となる。我々は、各国のエネルギー及び気候変動戦略を策定する上で、これらの提案を考慮することに合意するとともに、他国に対しても同様の行動を奨励する。

我々はまた、世界のエネルギーシステムの転換の中心として、安全、持続可能かつクリーンでより効率的なエネルギー技術の広範な革新を加速させる必要性を認識する。技術革新の加速は、全ての人へ手頃で信頼性の高いエネルギーの供給及びエネルギー安全保障の更なる向上という、我々にとって共通で長期的な気候変動目標にとって極めて重要である。我々は、技術革新が経済成長の

助長にもたらす貢献，及び研究・開発・実証（R D & D）や炭素価格設定等，様々な有効な政策の選択肢を活用した安全かつ持続可能な低炭素技術への投資に向けた動機付けへのニーズを認識する。

我々の国々は，新技術・革新的技術の開発，及び新たな技術の商業的かつ技術的な存続を支援する上で決定的な役割を有している。我々は，よりクリーンで効率的かつ持続可能なエネルギーシステムのさらなる促進に向けたコスト削減に必要な投資の実施，ならびに技術やグッド・プラクティスの開発における，民間及び公的部門の重要な役割を認識する。この観点から，我々は，I E A 実施協定のエネルギー技術ネットワークが，政府や産業界からの専門家を集結させ，エネルギー技術のR D & Dにおける多国間の有益なプログラムやプロジェクトを実行する上で強力な役割を果たしうることを確信する。

我々はまた，I E A に対し，地域の大気汚染の軽減を含む，エネルギー分野における経済・環境持続性の促進に対する提案の継続を呼びかける。これを支援するため，我々はI E A に対し，エネルギー分野の転換（例：全体的かつ長期的なエネルギー計画の分析）の追求，及びこの分野における国際的な連携の拡大に向けた更なる努力を奨励する。

これら全ての機会を至急かつ完全に利用することにより，我々は，気候変動，開発，経済及びエネルギー安全保障上の目標達成に資する，転換された世界規模のエネルギーシステムの実現に向けた推進力を構築することが可能となる。

（了）